

研究課題名 鎖肛術後の直腸粘膜脱に対する半周性 Delorme 手術の有効性に関する研究 に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年1月から2020年12月までに当院で半周性 Delorme 手術を行った方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的 鎖肛術後の直腸粘膜脱は比較的多くみられる術後合併症であり、出血や狭窄などにより手術治療を必要とする場合もあります。手術方法については明確なコンセンサスがなく、再発率が高いことも問題となっています。本研究の目的は、現在直腸粘膜脱の治療として当院で行っている Delorme 手術の有効性、意義を明らかにすることです。

方法 2014年1月から2020年12月までに当院で半周性 Delorme 手術を受けた患者の術中術後経過および予後について、診療記録より後方視的に検討する。原疾患や過去の治療歴などの患者背景、手術時期、手術情報（術式、術中所見、手術時間、出血量、麻酔等）、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再発、排便機能等）、予後について診療録より抜粋し、検討します。

研究期間

実施承認日から2022年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、基礎疾患、手術時期、手術情報、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再発、再手術、排便機能等）、予後

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座 小児外科学分野

研究責任者名 滝本 愛太郎

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2959 FAX 052-744-2980